

令和3年度第6回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和3年11月2日（火）13：30～14：10 教授会室

出席者： 廣川理事長（議長）、青木副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事、井手環境科学研究院長、南川先端工学研究院長、棚瀬人間文化学研究院長、伊丹人間看護学研究院長、村上環境科学部長、徳満工学部長、京楽人間文化学部長、糸島人間看護学部長、笹田委員、澤委員、矢吹委員、八里事務局次長

事務局： 山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、塚本参事、杉田課長補佐、藤居主幹

令和3年度第5回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

議 題

報告事項

- 1 令和4年度入学者選抜試験の日程について
郡田教務課長より資料に基づき報告があった。
- 2 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 令和3年度第7回衛生委員会
 - (2) 令和3年度第4回人権問題委員会
 - (3) 令和3年度第1回広報戦略委員会
 - (4) 令和3年度第1回環境整備安全委員会
 - (5) 令和3年度第5回国際交流委員会[主な意見・質疑等]
 - ・将来各国の渡航制限が解除された後、本学として柔軟に留学可否を判断されるか。
→今後の状況を見て検討する。

そ の 他

- 1 令和3年度人権研修およびコンプライアンス研修について
山田総務課長より資料に基づき説明があった。
- 2 その他
[主な意見・質疑等]
 - ・近年の高校生は、コロナ禍や入試制度変更への対応に苦労を強いられてきたが、大学進学後の状況を知りたい。コロナ禍以前の学生に比べて、今の1回生の学力はどうか。
→学習や研究に真面目に取り組む学生が多いとの肯定的な意見が複数ある一方で、自由な発想での研究等ができない指示待ちの学生も多い等の意見もあった。
 - ・学習指導要領の改訂が大学での学習にどのようなつながっているか。
→入試対応については、委員会で検討している。文章を記述する力は重要である。卒論指導等を通して指導をしている。